

東部地区社協だより

東部地区社会福祉協議会

=東部地区社協の構成町会・自治会=紙敷新田町会、紙敷中内薄浦町会、紙敷向新橋町会、和名ヶ谷町会、大橋町会、秋山町会、秋山自治会、高塚新田自治会、高塚団地自治会、梨香台団地自治会、河原塚第一町会、河原塚第二町会、河原塚南町会、河原塚南山自治会、ブルーミングガーデン松戸南自治会

編集：東部地区社会福祉協議会 広報部会

発行：張替 勝雄

〒270-2222 松戸市高塚新田494-9
(東部市民センター内)

TEL/FAX 047-391-6581

eメール tobu@matsudo-shakyo.com

第63号 令和2年12月



朝焼けの東松戸駅（令和2年2月5日6時20分撮影）

『地区社協の役割』



東部地区社会福祉協議会
副会長兼事務局長
永田 賢二

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、皆様がいかにお過ごしでしょうか。

外出を控えめにしている方が多いのかと思います。東部地区社会福祉協議会も活動を全面的に休止しているのが今の状況です。

先日の広報まつりで、健康寿命の延伸について特集されました。健康寿命を延ばすためには、「食事・運動・社会参加」の三つがポイントだそうです。「社会参加」のお手伝いは、東部地区社協の大切な役割です。ウィズコロナ社会と言われていますが、コロナというウイルスを意識、注意しながら積極的に社会に出て、活動していく新しい社会生活を創らなくてはなりません。

東部地区社協としても、今どうしたらいいのか、懸命に考えています。皆様にも、「社会参加」が大切であることを再認識し、考えていただけたら幸いです。

東部地区社協は、皆様のご意見、ご要望、新しい考え、工夫などお待ちしております。ぜひ皆様の声をお聞かせください。

(連絡は、平日9時30分～16時30分に、表紙右上の電話、FAX、メールアドレスへお願いします。)



先ごろ、第1回東部地区福祉教育推進連絡会議が開催されました。これは、地域ぐるみで福祉教育を推進する目的で、中学校区を一つのエリアとした地区社協と福祉教育推進校について、千葉県が三年間指定する取り組みの始まりとなります。指定を受けた、和名ヶ谷中学校、大橋小学校、和名ヶ谷小学校、馬橋高等学校と、松戸市教育委員会、東部地区社会福祉協議会の各団体より1、2名、総勢10名が出席し、会議が行われました。新型コロナウイルスの影響により全体的に動きは遅れてしまいましたが、今年度については、各学校・社協それぞれできる取り組みを行い、次回の推進会議において互いがどのように連携できるか考えていくこととなりました。

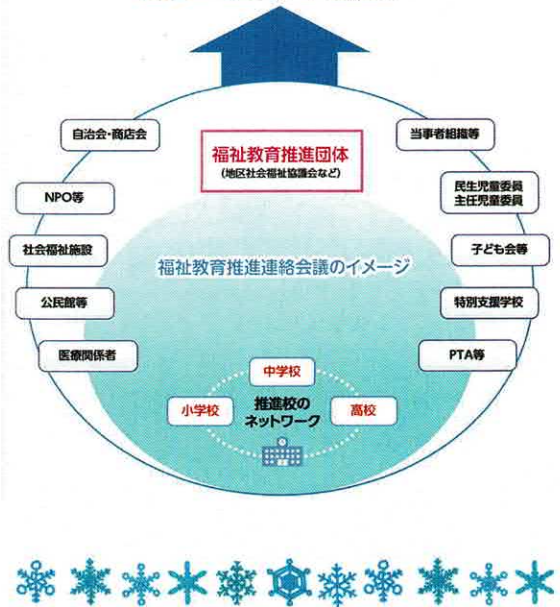
(1) 大橋小学校

主に総合的な学習の時間で福祉教育を行い、子ども達は「ふくし」という言葉を知るところからスタートし、福祉とは障がいや高齢の人に対してだけでなく私たち自身のことであり、ということの理解に努めている。学校内でできることとして利き手を使わないで生活をしてみる体験やいろいろな立場の人に立つ体験、意見交換を行っている。地域に視点を当て、災害時避難場所としてもっとよくするにはどうしたらいいかを子どもたちと考え実践できるように進めていきたいと思っている。

また松戸市よりオリピック・パラリンピックの教育に関する指定を受けている。スポーツ体験、



福祉コミュニティの形成へ



海外との繋がりを大切にした活動を行っている。

(2) 和名ヶ谷小学校

福祉教育は総合的な学習を主として教科横断的に取り組んでいる。当初予定では車いす体験や高齢者施設への訪問を予定していたが難しい状況である。福祉とは何かということから学び始め、バリアフリーや点字などの調べ学習を進めている。またオリピック・パラリンピック開催年であることから各種競技や種目について調べ、競技者の困りごとや、最終的に自分たちができることについて考える授業を今年度実施したいと思っている。

(3) 和名ヶ谷中学校

地域の人々との交流を通して思いやりの心を育てることを目的に今年度でもできることから活動を始めている。道徳の授業で福祉教育を題材に取り入れたり、車いす体験を行ったりと考えている。また、吹奏楽部、合唱部においては高齢者施設への訪問を予定していたが今年度はクリスマスカード等を渡す交流活動を考えている。

(4) 松戸馬橋高等学校

近隣小学校での学習ボランティア、地域のお祭りボランティア、妊婦体験・高齢者疑似体験、合唱部や吹奏楽部の施設での演奏、花植え活動、グラウンドゴルフ大会への参加等を予定していたが今年度実

施することが難しい。現在は家庭科を始め各授業科目において福祉教育を取り入れ、社会科では憲法の基本的人権を学ぶ中で福祉教育の視点の学びを進めている。今後は小学校、中学校、特別支援学校との交流を行い、互いを尊重することが大切であることを学ぶ機会としたいと考えている。

(5) 松戸市教育委員会

福祉教育の取り組みについて市内学校の動向を調査している。市内中学校での福祉教育における体験活動等の延回数については1,500回を超えている。今年度は福祉教育活動を行うことが難しい状況の中で、新型コロナウイルスにより人権をはじめとした課題も生じている。豊かな心を育むことをテーマに引き続き福祉教育を進めていく。

(6) 千葉県社会福祉協議会

県内の福祉教育実践動向を把握し、実践を紹介するなどしている。

(7) 松戸市社会福祉協議会

福祉教育の推進として福祉体験学習を中心としたプログラムを実施したり、福祉教育についての相談を随時受け付けたりしている。現在は、ゲストティーチャーや福祉教育サポーター派遣、体験学習等は実施できない状況であるが、動画による福祉教育教材の作成を進めており完成次第周知する予定である。

(8) 東部地区社会福祉協議会 (福祉教育推進団体)

各町会自治会、ボランティアに参画してもらいながら様々な地域福祉の事業を行っている。高齢の方を対象としたふれあい会食会や日常的な手伝いをする家事支援など6つの部会がありそれぞれ工夫をして行っている。現在、地区社協の活動は新型コロナウイルスの影響により実施が難しい状況にあり、広報紙の配布、参加した方々へのお便り等、部会ごとに行っている。

【お知らせ】

感染症防止のため、評議員会及び協力員新年会、宿泊研修会は中止となりました。また、今年度の各部会活動も引き続き見合わせております。ご理解のほどお願いいたします。